

平成 2 8 年 4 月 2 8 日

旧阿久根高校跡地活用検討に 関する調査特別委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会
- 2 日 時 平成28年4月28日（木） 10時00分開会
10時59分閉会
- 3 場 所 第2委員会室
- 4 出 席 委 員 山田勝委員長、濱崎國治副委員長、白石純一委員、
渡辺久治委員、西田数市委員、仮屋園一徳委員、
竹原恵美委員、牟田学委員
- 5 事務局職員 議事係長 東 岳也
- 6 説 明 員 企画調整課
課 長 早瀬 則浩 君 課長補佐 池田 英人 君
- 7 会議に付した事件
・旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会

4月28日（木）

開 会 10時00分

審査の経過概要

山田勝委員長

ただいまから旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会を開会いたします。

本特別委員会に付託されました案件は、旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査についてであります。

これまで当委員会では、昨年6月30日に委員会を設置してから、参考人からの意見聴取を含め、7回に渡り委員会を開催してきました。

今後、6月の第2回定例会で当委員会の結論を報告したいと思いますが、今後の委員会の開催内容も含め、検討を行いたいと思います。

協議のため休憩に入ります。

（休憩 10：00～10：02）

山田勝委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

それでは、当委員会に所管課である企画調整課を呼び企画調整課の検討委員会等のことについて説明を求めたいと思いますがこれに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めそのように決定しました。事務局より対応可能な時間等確認しますので、休憩します。

（休憩 10：03～10：05）

（企画調整課入室）

山田勝委員長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、企画調整課に出席いただきました、旧阿久根高校の跡地活用についてこれまでの取り組み状況について説明を求めます。

早瀬企画調整課長

旧阿久根高校跡地関係につきましては、平成27年度に1回委員会を開催しています。名称のほうは、旧阿久根高校跡地活用検討会議ということで、去る11月13日に委員の方々をお集まりいただきまして、12名の委員で、実際にこれまでの経緯についてということで、これは阿久根高校が、高校自体が合併した以降、阿久根高校について中高一貫校の提言、その後いろんな提案がございました。その説明等、そして今後のスケジュールということで実際には今後どういう形で整備をするとか、いろんな提案を受けるとかいうところまでは至っておりません。最近のことではありますが、阿久根高校のこの跡地の問題と、グランビューあくね、こちらのほうの整備と合わせてのちょっと提案があったということで、そちらのほうに市長以下、総務課、財政課のほうで一応その提案を聞いて来て、今後近いうちに提案がまたなされるというようなそういう待ちの状態であります。以上です。

山田勝委員長

課長の説明は終わりました。委員から質疑はございませんか。

濱崎國治委員

27年の11月に第1回をされたということで、もうかなり月数が経つんですが、今、話

がありましたとおり、提案があったということで延びているということで理解していいですか。

早瀬企画調整課長

それ以外にですね、いろんな提案というものがなかなか先に進まない状況の中で今回グランビューのほうと合わせて提案があったということで今その線で動いているということであります。

濱崎國治委員

と言いますのは、委員側から具体的な提案はなかった、アイデアはなかったということで理解してよろしいですか。

池田企画調整課長補佐

委員会の中ではですね、それぞれの委員の方々の想いであるとか、福祉施設の関係の提案等も一応出された方もいらっしゃいましたので、そこの中身についての本人の説明であるとかいう話が出たところでございます。委員会としてはそれまでの経緯を踏まえての協議ということでしたので、委員会としてこういう提案という部分については、出ていないところでございます。

濱崎國治委員

今、福祉施設のことを含めて、これ提案ではないんですか、それとも提案ではなくてどういう感じなんですか。

池田企画調整課長補佐

提案ではなくてですね、自分がある程度の提案をもう市に何回か出されている方でしたので、その説明という形でですね、こういう気持ちでいろいろ出しているんだという説明だったです。

濱崎國治委員

ということは、これまでも行政に対してそういう提案があったということですね。

[池田企画調整課長補佐「はい」と呼ぶ]

それは、ここで発表できるんですか。それと、先ほどの旧国民宿舎あくねと旧阿久根高校跡地の両方の関係でいろいろ市長等が提案があったということで、それについてもこの場では発表できるんですか。

早瀬企画調整課長

先ほど池田補佐のほうから言った分について、現在までいろんな提案、それは議員の皆さんからの提案も含めて、その分についてはこちらのほうで報告することはできますが、今、両方一括で（聴取不能）しているところについては、まだどういう形で動くかというのは、口頭でしか話をされていませので、なかなかちょっとここでは話できないというふうに思っています。

濱崎國治委員

旧国民宿舎と、その阿久根高校跡地の件についてですね、市民の方がですね、いろいろ提案があったそうだが、なんでそれを早く取り上げんのかという、もっと情報公開せよという話を聞いたことがあって、いやそれについては、私も知らないんです、議会もまだ、そこまで議会にも何もないし、それについては情報公開はどうなんだろうかねということしか言えなかったんですけど、実際そういうのはあったということで理解していいんですね。

早瀬企画調整課長

はい、確かにあったんですが、グランビューのほうの今4月以降、解体に向けて動いています。その中で、手を挙げられる予定の方々からしてみたら老人福祉センターの問題、若干駐車場用地のために、あそこまでどうなのかというような問題が発生しております。それと一つは2020年の国体に向けて阿久根市のホテル、旅館の受け入れが4～500はないといけない、その中にグランビューも入っていると、ところが例えば2～30億かけてホテルをつくる方が、7～8千円で泊まれるような施設をつくるかどうかというそこになります

と、一つ合わせて、阿久根高校のほうで、たとえば合宿所という部分があれば2020年の国体問題もクリアされる。そしてそこが、福祉施設も並行されるようであれば、一応公共施設として阿久根市が県から受けられる。そういういろんな要素がちょっと今組み合わせられた中で、どういう提案を相手がされてくるのか、今、それ待ちの状態であるということであり
ます。

仮屋園一徳委員

あの県との関係について、ちょっとお聞きしますけど、県の阿久根高校跡地に対する考え方、一つについて教えてください。関連がありますので、一緒に行きます。現在ですね、現在というよりも最近、県と阿久根高校跡地について打ち合わせをしたことがあるのか、また、こちらから県に対して、要望、意見を言わないといけないような状況はないのかどうか、その辺についてお聞かせください。

早瀬企画調整課長

県のほうとは最終が平成27年の7月に意見交換を行っております。この件につきましては、10年前に阿久根高校跡地事務局の対応ということで、私なんかが一応担当で、県の教育委員会のほうと検討してきました。その時からのスタンスは同じというようなことで、ということかと言いますと、阿久根高校をまずつくる時に、阿久根の地元の皆さんに土地を、学校をつくるということで、提供をしてもらった、これは有償であったかもしれないんですが、安い形で提供をしていただいたと、そういうこともあって、阿久根市が、いろんな地域振興のために使うのであれば、県のほうとしては、無償譲渡しますと、ところがその条件としては、公的な利用があつての無償譲渡ということで、それ以外であれば、例えば場所からすれば、宅地にどうかとなりますと、当然ながら民間が入ってくるような状況の中では、県は県有地ですから、競売にかけるといふようなところで、とにかく公的な理由であればそこについては、協議次第で県のほうから阿久根市のほうに無償提供しますと、そういう流れになっております。

池田企画調整課長補佐

すいません、補足ですけれども、県に出て行って話をした部分についてはそうなんですけど、第1回の検討会議の終了後であるとか、それ以降に電話連絡についてはですね、状況的には話をしております。県のほうはですね、こちらの検討会議の方針であるとか、そういうのをした段階でまた教えてくださいというのと、それと経過をずっと教えてくださいということで、電話でのやりとりは常時やっている状況であります。

仮屋園一徳委員

県下にはですね、廃校みたいなのがいっぱいあって、いろんな活用例が示されているわけなんですけど、その辺の今の状況、民間での使用、あるいは公共的な使用、両方あると思うんですけど、その辺の情報についてはどの程度把握されておりますか。

早瀬企画調整課長

県内の高校再編に伴う跡地の（聴取不能）につきましては、県のほうから資料をいただいておりますが、これを具体的に皆さんに直接渡していいのかどうか、それがなければちょっと大筋でまとめたやつを皆さんのほうにお配りするというところで。

山田勝委員長

説明をすればいいんですよ、たとえば、ゼロでなくて、こここここの学校はこういう状況でやっていますよという具体例を説明されたらどうですか。

池田企画調整課長補佐

まず、旧種子島高校ですけれども、西之表市からの要望に応じ、中学校用地として無償譲渡。旧徳之島農業高校、伊仙町からの申請に基づき無償譲渡。旧樋脇高校、薩摩川内市からの申請に基づき無償譲渡、市は平成27年度に解体した上でグラウンドゴルフ場を建設する計画という。旧南種子高校、南種子町からの要望に応じ無償譲渡、町は中央公民館、図書室、歴史民俗資料館として活用。旧鹿児島西高校、跡地の一部を鹿児島工業高校伊敷グラウンド

へ分譲をしております。旧有明高校は県は跡地において大隅地域のスポーツ合宿の拠点となる施設整備を進めることとなっております。大体以上です。

山田勝委員長

ということです。資料はもういらんでしょ。

仮屋園一徳委員

はい、いいです。

山田勝委員長

ほかにないですか。ちょっと休憩を。

(休憩 10:19～10:32)

山田勝委員長

休憩前に引き続き会議に移行します。

白石純一委員

校舎サイドについては、議会でも耐震診断の数字をいただいて使うことができるというふうに理解しておりますけれども、体育館についてですね、耐震診断をされていないというふうに理解しておりますので、やはり使うためには最近地震のことも（聴取不能）が大きくなっておりますので、ぜひ体育館についても診断を進めるべき、これは県がやるのか、を進めるべきではないかと思うんですが、その点についてはいかがでしょうか。

早瀬企画調整課長

体育館、人が住む部分ではないと言うことの中で、耐震診断はどういう形で県のほうにですね、こっちのほうが投げかけたらいいのか検討していくしかないかなと思っております。

池田企画調整課長補佐

その話はですね、今のところ県としては、耐震診断をする必要はないような話でした。

白石純一委員

建築年数からすると旧耐震基準の時代に建てられたものと思いますので、耐震性がわからないとこちらでも、使えるか、使えないのか、使うんだったらこちらで診断をして補強しなければいけないという費用が発生しますので、既存の建物の診断はやはり県がするべきではないかと私は思うんですが、これは意見です。

山田勝委員長

お願いします。ほかにないですか。

濱崎國治委員

先ほどのをちょっと確認させてください。

第1回検討委員会がされ、あるいは福祉施設等の説明があったということもありまして、今、市にいろんな方の提案が寄せられていますので、それを受けて、正式な提案を受けて、その後市は検討委員会をするということで、確認してよろしいですか。

[早瀬企画調整課長「はい」と発言あり]

山田勝委員長

ほかにないですか。

仮屋園一徳委員

今検討委員会のことが出ましたので、ちょっと確認ですが、今後のですね、検討委員会の進め方についてなんですが、最終的には県との協議ということで、その県との協議内容等についての作成資料、そういったものまで考えた検討委員会なのでしょうか。

早瀬企画調整課長

とにかく提案がどういう形で出されるものかによって、結局高校跡地、それこそ県有地をもう民間が買ってするというような方針であればまたそういう話を委員会の中につなぐといえますか、どういう形が一番阿久根市として理想なのかというところの多分協議、そこにな

っていくかと思います。

白石純一委員

今の件ですけど、完全に民間が買うというのも1つの方法ではあるんでしょうけれども、完全に民間の持ち物になった場合はですね、民間がやりたいようにやる。原則に行政は何も介入できなくなるわけであります。基本的にですね。やっぱり完全に民間に払い下げということでは、阿久根市の公共的な利用価値というものがなくなってしまうので、むしろ、どうということにつなげるか、いくら約束をしててもですね、永久にということで、やはり民間であれば利益を重視せざるを得ませんので、それは、私としてはいかがなもんかなと思います。

山田勝委員長

はい、ほかにないですか。

竹原恵美委員

意見を言われるところなので、私は逆に、民間が運営する上で関与をすることは決していいものだろうかと、資産自体はそうだけれども、公共が活かすことができ、十分に活かすことができないのであれば、将来を見込んで、ある程度整理をしていく、そういう考えを私は持っておりますので、お話をしました。

山田勝委員長

ほかにないですか。

ほかになければですね、課長、最後に1つだけ僕が。

実は遠矢さんの意見の中にですね、遠矢とお話をする時に、公共が使うよということで、県から一応譲り受けて、あと校庭の整理等については、パルディードに任されたらどうですか、そしたら金がいらんじゃないですかという話をされましたのでね、それも。

ほかにないですか。なければ企画調整課への質疑を一時中止いたします。ありがとうございました。

休憩いたします。

(企画調整課退室)

(休憩 10:37～10:47)

山田勝委員長

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。これまでですね、委員会での参考人からの意見や、本日の企画調整課に確認した事項を含め、旧阿久根高校跡地活用に関し、各委員からの意見がありましたらお願いします。

牟田学委員

今、企画調整課の説明では、案件が1つあるということでしたけれども、国体に向けてですね、どうしてもやっぱりこの宿泊というのは考えないかと、そこあたりでやっぱり合宿等もいろいろ意見が出ましたけれども、仮にその提案があつてですね、民間でやるということになっても、そこ辺りはやっぱり市として考慮して、要望を付けるとかですね、そういうふうにやってもらいたい。というのはだから今の阿久根高校跡地を泊まれるという施設にやってもらいたいと思います。

山田勝委員長

ほかに何か。

濱崎國治委員

私は、せっかくの市街地の真ん中にある、しかも3万平米以上という敷地からして、それから旧阿久根高校の校舎が3棟とかですね、あるいはほかに体育館の設備がありますので、あそこを何とかして、阿久根市の活性化を進めるための施設として、できないだろうかということで、活性化ということになれば、やっぱり雇用の関係にしても、あるいはそこで施設

に使われる農林水産物等のことを考えればですね、参考人として、お呼びした中でもですね、たとえばあそこに人材育成のための施設、あるいは、また福祉施設を整備して、あそこをしたらどうかという意見がありまして、私も非常にいいことではないかなということで、より具体化できる、そういう考え、施策じゃないかなと思いました。特に現在、全国的に介護職の方が不足しておりまして、阿久根でも非常に人材を見つけるのに苦慮しているということで、何とか定年を延長して対応しているということですので、それでも今後増加する高齢者になかなか対応できないということもありますので、やはりまずその介護職を養成する施設、それからこの前ある方が障がい者が働けるそういうスペースをつくり、将来的には併設する障がい者施設をつくったらという話もありまして、非常に私は共感をするところがあります。特に参考人の方からもありましたけれども、障がい者を持つ保護者としては、将来的に障がいを持つ子供達が安心してずっと生活できるというのを望んでいらっしゃると思いますので、その辺も含めてですね、人材育成のそういう学校及び寄宿舍ですね、寄宿舍は当然障がい者が宿泊できる宿舎、それからいわゆる加工場的なそういう工場、そして福祉の障がい者施設を併設するようなそういう構想ができないか、そういう施設ができないかどうかというのに期待をするところでもあります。特に前話した時も、やってもいいような意見の方もいらっしゃいましたので、阿久根市が取り組んでいけば不可能ではないのではないかなと思います。特に障がい者施設については、国県からの相当な手厚い補助があるのも事実でありますので、その辺は何とかできないかなと、特にまた、学校併設ということになれば、県有地である跡地についても無償でやっぱり受けられるんじゃないかなというのも考えますので、その辺を市としては強く要望したいというのは、強く推したいと思います。

山田勝委員長

あのですね、実は私がきょうこの会をして、今後の取り組みについてですね、一応企画調整課の説明を受けました。その段階でほとんどですね、意見は出尽くしたなという気がするんですよ。だから今後の取り組みについて、濱崎委員、あるいは牟田委員からですね、今後の阿久根の活性化のためにプランを出していただきましたけれども、私としてはですね、この次にそれぞれ皆さん今まで何名かの方から提案をいただきました。その提案された方々のを思い出しながらですね、それぞれ自分の意見をですね、自分の提案したい意見というのをこの次の会までまとめて持ってきていただきたいという気がするんです。

濱崎國治委員

委員長、私はこれで提案をできる機会だと思ってきょうは来たもんですから。すいませんでした。

山田勝委員長

というのは、それぞれ皆さんお考えだと思いますよ、私もですね、途中で副委員長と交代して私も提案したいという部分もあります。でも、そういうことを考えた時にですね、どうしてもこの件についてはもうちょっと確認せないかなとか、それを僕だけじゃなくて、皆さん方も同じじゃないかと思いますし、ですから、この次の会議にですね、それぞれの提案をしていただいて、それを皆さんの中で討議いただいて、できることなら何本かにまとめることができればいいし、何個かにですね、できる事なら。しかしながら皆さん方の意見をやっぱり全部ひっくるめてですね、ちゃんとかいうことで、結論がこういうことでしたということで、委員長報告は6月議会にしたいと思うんですよ。そういうことで、きょうはですね、一応確認をいただいて、そして皆さん方の御意見を聞いてですね、お持ち帰りいただいて、自分たちの意見を自分たちの提案をですね、この次に持ってきていただきたいという気がしてるんですが、いかがなものでしょう。

濱崎國治委員

これまでの委員会の審議の中で、それぞれいろんな意見があったので、委員長もおっしゃったように1つにまとめるんじゃないくて、委員会としてはそのような意見が出ましたのでこれを参考に行政としても対応してくれということでの結論がいいと思います。

山田勝委員長

そういうことのためにね、この次の時に皆さん方がそれぞれの提案をなるべく短くまとめて提案していただきたいというふうに思うんですが。

牟田学委員

確認ですが、今まで何名かの参考人を呼んで、意見を聞きました。その意見の中でということでしょうか。それとも個人でほかにあればということでもいいんですか。

山田勝委員長

その意見を入れて、個人の意見があったらいいんじゃないですか。委員が俺はこれの思ってるんだというのがあればされていいんじゃないですか。

濱崎國治委員

この前のいろんな意見の人の参考に、ああこれいいなあと思ったら、それプラス自分の意見とか、あるいはほかの人の意見も合わせながら、一番いい提案を、意見を言えばいいんじゃないかなと思います。

竹原恵美委員

私は今まで話を、提案を、個々の提案を聞きましたけれども、結局今の時点で分かったことは、まず阿久根市が何を課題を抱えているのか、施設として抱えているのかということの課題から方向だけではなくて、この委員会の役割としては枠組み、何を市民として要求していくか、枠組み程度の示しが必要ではないのかなと思うところでした。高校跡地だけの活用
の提案だけではなく、これが案がいい、この案がいい、この案がいいという提案だけではなく、阿久根のさっきランドデザインという言葉が出ましたけれども、全体として、どういうふうな要望を出していく、今こういう課題があるという認識を持って提案をしていく必要があるのではないのでしょうかと思います。

濱崎國治委員

我々が提言するのはですね、いろんな課題を、もしそれを行政が、よしこれについて検討してみようということになった時、いろいろ課題があると思うんですよね、必ずじゃあ財源はどうするのか、何はどうするのかといろんなのが出てくると思いますので、そこは行政側の検討事項として、我々としてはこういうのがどうでしょうかというのをですね、提言することで、あるいはさっきおっしゃったように、じゃあ他との関連はどうするのかという時は提言の中にですね、他との関連がこうだから、こういうのはどうでしょうかというのを
していいんじゃないかなと思います。

山田勝委員長

まああのですね竹原委員、なるほどそれは提案の中でおっしゃるのは結構ですけども、現在の特別委員会は旧阿久根高校跡地活用に関する特別委員会ですので、御意見の中でそのちょっと付け加えるならいいんですが、今回は旧阿久根高校活用に関する特別委員会という枠をなるべく、なるべくじゃない、はずれたらですね、私としては報告できません。

竹原恵美委員

皆さんおっしゃることはわかるですけども、結局、最終に得られてしまうのが、縦割りの問題を抱える可能性はかためること、それは委員会の役割としては、本筋は題名のとおりなんです、それが結局最終縦割りで効率的な統廃合が得られなかったという委員会の議論になったねということにならないようにと思ひまして提案しました。

山田勝委員長

どうぞ、それはそういうことですね、提案の中でお話になるのは結構ですが、あくまでもこれは阿久根高校の跡地をどうするかということですので、これは御理解ください。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次回開催については、委員長に一任願いただきたいと思いますが、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

それでは、以上で本日の旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会を散会いたします。

（閉 会 １０時５９分）

旧阿久根高校跡地活用検討に関する
調査特別委員会委員長